

# 釜石祥雲

学校報 No. 25  
発行:平成 26 年 3 月 19 日  
釜石祥雲支援学校

## 今年度を振り返って

校長 福田 隆彦

小学部、中学部、高等部、しゃくなげ分教室・中学部・高等部の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。東日本大震災後の復興に取り組み、できること、自信の持てることを毎年積み重ね、新しい学部そして社会へと旅立つ卒業生のみなさんにエールを送ります。また、共に歩んでこられた保護者のみな様にお祝いのことばをお送りいたします。

今年度は給食がスタートしたことで食育へ取り組むことができました。いろいろな食材にふれることで子どもたちの味覚が広がったと感じています。また、学習発表会や修学旅行等の行事も成功裏に終了することができました。大きな事故やインフルエンザ等の流行による学校閉鎖もなく、子どもたちが元気に一年間学校生活を送ることができました。その時々を支えとなっていたいただいた保護者のみな様に感謝いたします。

反面、高等部の釜石高等学校への移設が工事の関係で延期されたこと、スクールバスの通学への活用が実現しなかったこと、さらに復興自動車道の工事が始まり、安全への配慮等が必要なことと、解決しなければならない課題が残っています。方策を検討し次年度早々にも保護者のみな様にお示ししたいと考えております。

東日本大震災から3年が経過し、復興の道半ばではありますが、街の様子は徐々にかわりつつあります。子どもたち、保護者のみな様に寄り添った学校であり続けるよう、活動を充実させていきますので、ご支援ご協力をお願いします。



小学部4名、中学部2名、高等部10名、しゃくなげ分教室では中学部1名・高等部3名 合計20名のみなさんが卒業します。

中学部、高等部のみなさんは、大震災のため遅れて開始した23年度の入学生でした。お弁当や通学用のタクシーなどの支援を始め、全国からの様々な支援を受けました。それまでとは違う校外学習や現場実習に戸惑いながらもがんばってきました。そして被災地から発信する復興教育に取り組んできました。何よりも普段通りの学校生活ができることに心の底から喜びを感じたみなさんでした。

君と出会った奇跡が この胸にあふれている  
きっと今は自由に空も飛べるはず  
夢をぬらした涙が 海原へ流れたら  
ずっとそばで笑ってほしい

スピッツ  
♪空も飛べるはず♪より

いくつもの日々を超えて  
たどり着いた今がある  
だからもう迷わずに進めばいい  
栄光の架橋へと  
終わらないその旅へと  
君の心に続く架橋へと

ゆず  
♪栄光の架け橋へ♪より

※中学部『卒業生を送る会』で、職員からの励ましとして歌いました。

卒業おめでとうございます。新たなステージでも これまでと同じく勇気を持って 前に進んで下さい。

釜石祥雲支援学校は、いつでもみなさんを応援しています。

# 新たな旅立ち

学校では全ての教育活動を卒業後の社会参加・自立を目標として取り組んでいます。

今年度を含め、3年間の進路先の表をご覧ください。

中学部卒業後は、ほぼ全員が高等部に進学します。

高等部3年間6回の校内・現場実習や進路に関する学習を積み重ねて、

自分の将来をイメージして最も良い進路先を選択できるように高等部では指導・支援に努めています。

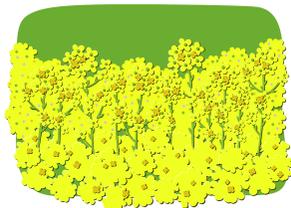
今年度、福祉サービスの事業所が増えま

した。震災後の新築・改築が2か所あり、新規事業所は3か所増えています。26年度は、大槌でもう1か所増える予定です。進路選択が複数あり選べる状況になりました。

一般就労では、平成12年度～24年度までの卒業生の内、17名が働いています。今年度は、飲食関係と小売業で2名が内定をいただきました。「やりたい仕事」と「できる仕事」が合致し、揺るがない気持ちで進むことができました。

相談機関も充実してきました。心配なことをどんどん相談していくことが進路達成でとても大事なことになっています。

今後も将来の夢、心穏やかな生活を実現できるよう、全力で取り組んで参ります。



年度	中学部	高等部			しゃくなげ分教室		
		一般就労	通所施設	施設入所	中学部	高等部	
進路先	本校高等部				本校高等部	継続入院	継続入院
23	4	1	4	1	2	1	8
24	2		7	1			2
25	2	2	6	2	1		3

# お世話になりました



25年度は、7名が様々な事情により退職、13名の職員が本校を去り、新任地へと向かうことになりました。これまで、保護者のみな様を始め、関係機関のみな様にはいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

それぞれが釜石祥雲支援学校で過ごした年月、子ども達や保護者のみな様との数々の思い出を胸に新たな任地や新たな生活をスタートさせます。釜石地区の早期復興と、希望を忘れず前を向いてがんばる子ども達と釜石祥雲支援学校をいつまで応援する気持ちは皆同じです。再会を楽しみにしています。

